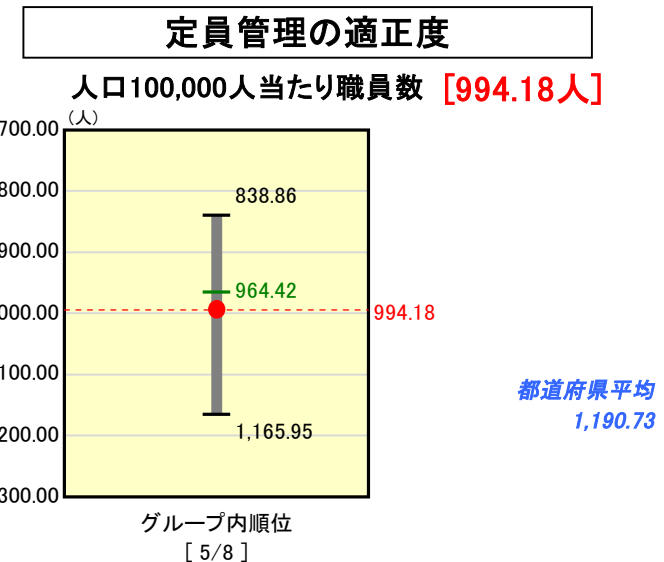
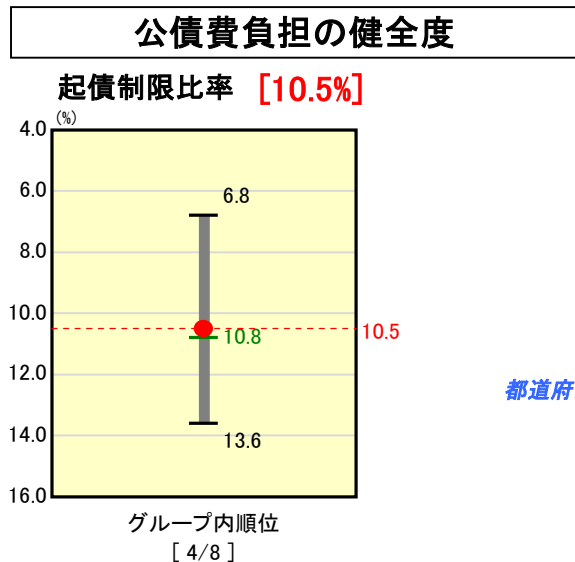
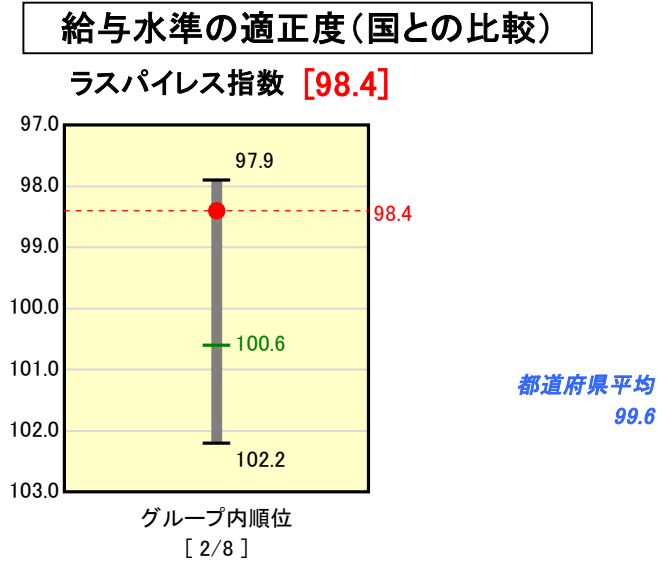
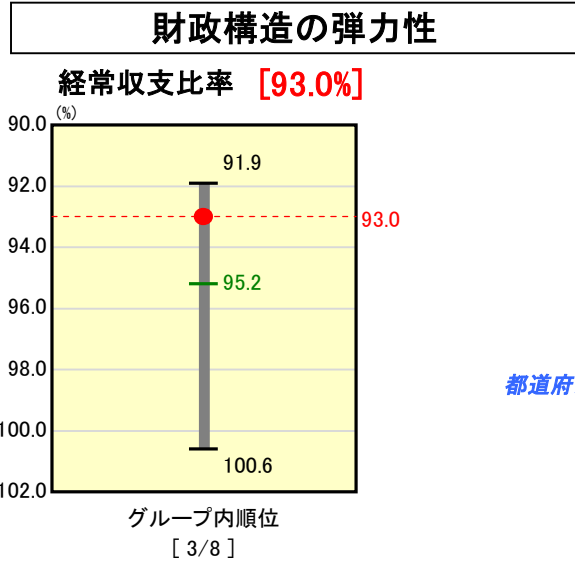
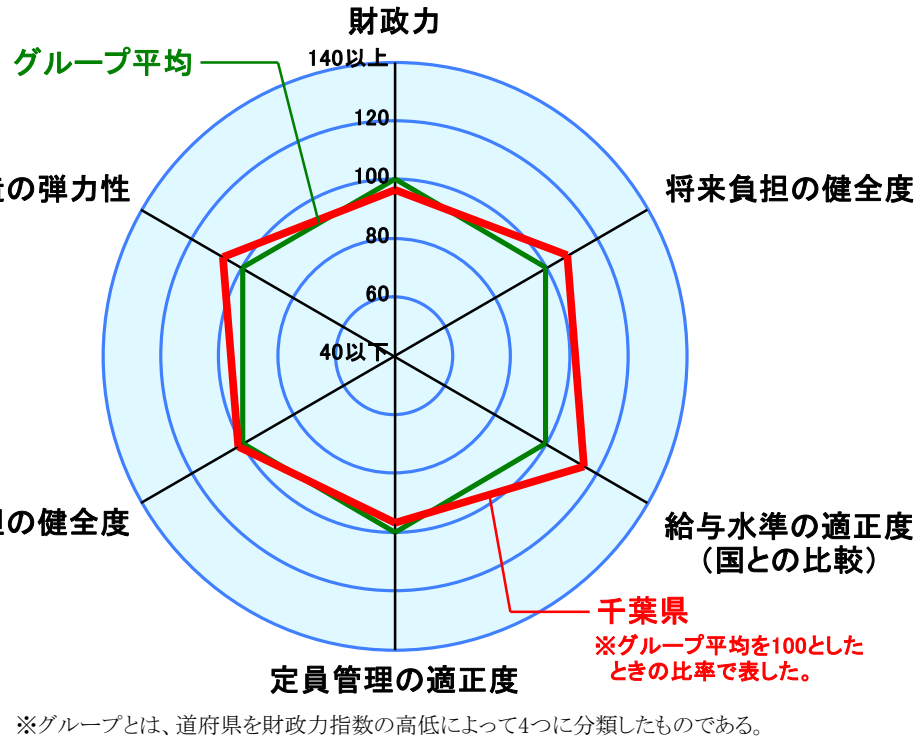
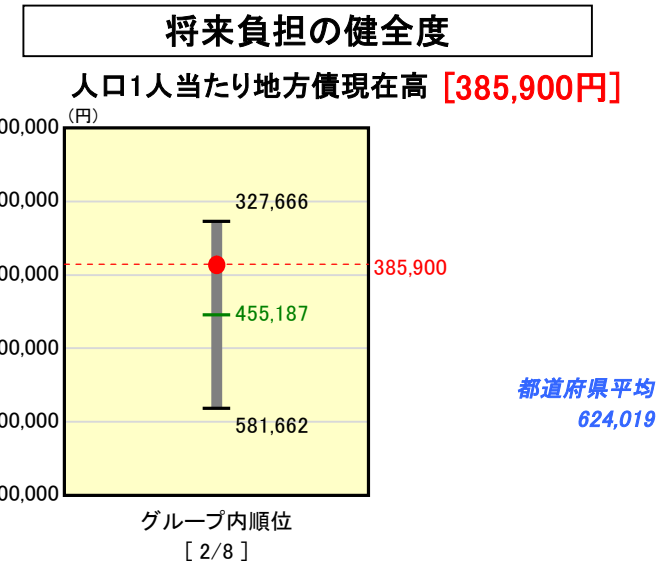
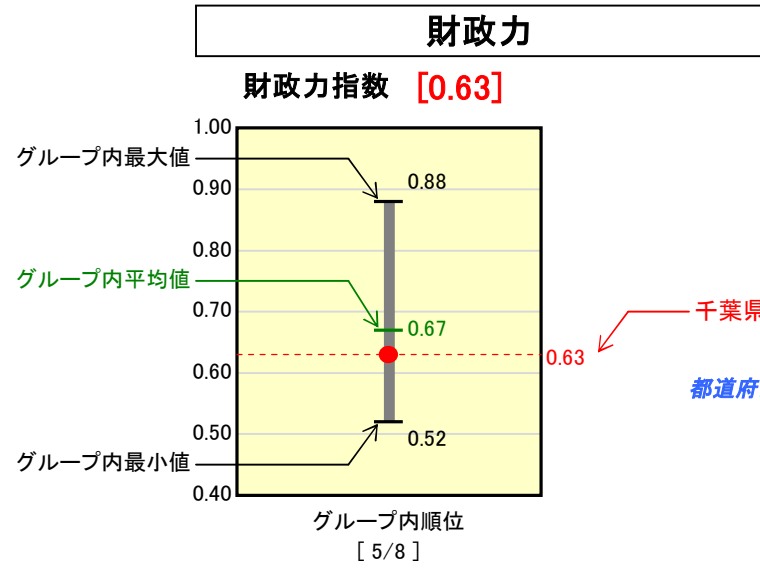


都道府県財政比較分析表(平成16年度決算)

千葉県

I グループ
(財政力指数 0.500以上)



分析欄

【財政力指数】法人関係税を中心とした県税収入の伸びにより、上昇しており0.63となっている。

【経常収支比率】15年度から実施している職員給与の独自カットや定数管理の適正化による人件費の削減、物件費等の内部管理経費の削減により、93.0%とグループ内平均を下回っている。今後とも、千葉県行財政システム改革行動計画(H17~20)に基づき、予算の質的変換に取り組んでいく。

【起債制限比率】16年度は県債の満期一括償還に備えた172億円の積み立て不足により、グループ内平均よりも低い10.5%となっている。なお積立不足は17年度に解消を図っている。

【人口1人当たり地方債現在高】建設地方債が減少する一方で、地方交付税からの振り替えの臨時財政対策債等の発行により地方債残高は増加しているが、グループ内平均値を下回っている。今後、短期的には臨時財政対策債等を除いた地方債残高の抑制を図っていく。長期的には県債残高の総額の抑制を目指していく。

【ラスパイレス指数】15年度から実施している職員給与の独自カット(2~3%)によりグループ内平均より低い98.4となっている。今後、給与構造の見直しを行うなど更なる適正化に努めていく。

【人口100,000人当たり職員数】定員適正化計画に基づく定員削減を図っているが、警察官の増員などもありグループ内平均を上回っている。今後も定員管理の適正化に努めていく。